

一般質問

ここが聞きたい!

「まち・ひと・しごと創生法」とは、津海木海岸へ離岸堤の設置を



松井 岑雄 議員

問 「まち・ひと・しごと創生法」について

答 国は、情報面の支援、総合戦略策定にかかる人的支援、さらには税財政制度等の支援を行う。県も「山口県活力創出本部」を設置し、広域施策や基盤施策を中心とした県の地方版総合戦略を策定する。

周防大島町の最重要課題は、定住対策である。若者の定住に向け、安心して出産や子育てを行えるよう、周産期医療確保や義務教育終了時までの医療費無料化を行い、魅力ある教育環境として保育園から小学校、中学校さらには周防大島高校まで高水準の英語教育を行う予定である。

また、「雇用を創出する」という目標に向け、地域の資源を活用した第六次産業化やケーブルテレビ



津海木地区

網を使ったインターネット関連の事業者の誘致等、新しい分野での創業支援も検討したい。

周防大島町総合戦略は、県の総合戦略と連動し、住民や有識者の意見を広く反映させたものを策定する。

問 津海木海岸へ離岸堤の設置と一文字波止場の1mの高上げを。

答 津海木海岸は、県の「海岸保全基本計画」において護岸、離岸堤等整備することとしているが、実施時期は未定である。

今後早期の事業化へ向け、引き続き要望する。

守ろう自然環境!



吉田 芳春 議員

大島大橋周辺の環境美化と観光振興を

問 大島大橋を渡って左折し、西三浦瀬戸付近を地域住民ボランティアグループの方々が中心となって荒廃した竹林を伐採した後に桜や椿の苗木を植栽し環境美化に取り組んでいる。

こうした住民皆さんの自主的な取り組みに対し、町行政を預かる町長として環境美化・観光振興を図る観点からも積極的に協力・支援すべきである。

国道437号線から、飯の山に登る付近に公園スロットがあるとこころに、ちよっと一服する場所とか、雨宿り、大島大橋や海を眺めながら弁当が食べられる憩いの休憩所(あずまや)の整備を。また竹林等を伐採すると、日当たりも



竹の伐採～破碎機の活用～

よくなり、日光浴ができるような遊歩道の整備を要望する。

また観光スロットとして脚光を浴びると県内外から観光客も増え、駐車場やトイレの整備が必要になる。町長の考えを問う。

答 町では太い竹でも細かくできる破碎機を2台整備し、希望する団体に無償で貸し出し支援している。

要望の休憩所(あずまや)、遊歩道の整備については、県有地等でもあり、関係機関等と協議し慎重に検討する。

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問